▶新規継続事業案内　〈2面〉
▶全国事務局長・事務長会議　〈〃〉
▶新入生ガイダンス　〈〃〉
▶加盟校新年度動静　〈2・3面〉
▶キリスト教学校教育同盟とは？〈3面〉
▶公募　〈〃〉
▶キリスト教教育者物語　〈4面〉
▶2016年度教職員就職支援状況　〈〃〉
▶キリスト教Q＆A　〈〃〉
▶人権セミナー、図書案内、行事予定　〈〃〉

キリスト教学校教育 5

2016・2017年度教研テーマ
時代の担い手としてのキリスト教学校ー共に喜び、共に泣くー

（一社）キリスト教学校教育同盟
〒169―0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館72号室
電　話　03（6233）8225
ＦＡＸ　03（6233）8226
理事長　梅津　順一
編集人　田村　浩一
頒価200円（加盟法人の購読料は会費に含まれています）
（毎月1回15日発行）

第61回事務職員夏期学校

主題「キリスト教学校で事務職員として働くとは？」
7月22日～24日御殿場・東山荘で開催

校長・小河、主題講演・森野、牧師・関野、特別講義・国友　各氏

第61回事務職員夏期学校は、7月22日（土）より24日（月）に、御殿場・東山荘で開催される。

主題は「キリスト教学校で事務職員として働くとは？」で、校長に小河陽氏、主題講演講師に森野光生氏、牧師に関野和寛氏、特別講義は昨年に引き続き国友淑弘氏が就任する。

教育同盟事務局より各学校法人理事長・事務局長・事務長宛に案内書と申込用紙を送付済みで、申込締切は6月23日（金）。

小河　陽氏

森野光生氏

関野和寛氏

国友淑弘氏

（プロフィール）

小河　陽（おがわあきら）氏
1944年岡山県生まれ。67年国際基督教大学人文科学科卒業。70年東京大学大学院人文科学研究科西洋古典学博士課程中退。70～73年東京大学教養学部助手。71～75年フランス・ストラスブール大学プロテスタント神学部大学院課程在籍、宗教学博士。75～88年スウェーデンのウプサラ大学、ニューヨークのユニオン神学校で学ぶ。89年弘前学院大学文学部教授。91年立教大学文学部教授を経て、現在関東学院大学経済学部教授、2014年に関東学院学院長に就任。立教大学名誉教授、教育同盟国際交流担当常任理事。

森野光生（もりのみつお）氏
1951年10月16日、千葉県佐原市（現香取市）生まれ。地元中学を卒業後、明治学院東村山高等学校から明治学院大学経済学部経済学科に進み74年に卒業。3年間のアパレル業界でのサラリーマン生活を経て、77年4月より本年3月まで40年間（内女子聖学院短期大学事務室に13年、法人事務局人事課に4年、聖学院中学校・高等学校事務室に18年、再び法人事務局総務部・人事部に5年）学校法人聖学院で事務職員として奉職。

牧師　関野和寛（せきのかずひろ）氏
日本福音ルーテル東京教会牧師。
歌舞伎町の裏にある教会で日々ありとあらゆる人々に揉まれ奮闘しながら神のメッセージを人々に伝えている。またその傍ら牧師だけのロックバンド「牧師ROCKS」で劇団四季に在籍。「オペラ座の怪人」他、多くの舞台に出演。現在、川崎、市ヶ谷、小田原、横浜YMCAでのゴスペル指導と共に、桜美林大学芸術文化学群、日本工学院専門学校、日テレ学院の各講師。日本バプテスト同盟横浜教会会員。

特別講義　国友淑弘（くにともよしひろ）氏
大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。同専攻科及び同大学院音楽研究科声楽専攻修了。立教大学大学院キリスト教学研究科キリスト教学専攻博士前期課程修了。第7回和歌山音楽コンクール奨励賞受賞。大阪音楽大学大学院在籍中、ミラノ・ヴェルディ音楽院に招聘留学。1995年よりアメリカに渡り、舞台出演と共にゴスペルを学ぶ。帰国後、劇団四季に在籍。「オペラ座の怪人」他、多くの舞台に出演。現在、川崎、市ヶ谷、小田原、横浜YMCAでのゴスペル指導と共に、桜美林大学芸術文化学群、日本工学院専門学校、日テレ学院の各講師。日本バプテスト同盟横浜教会会員。

東北・北海道地区からみなさまへ

酒井玲子

2017年度、あの真っ青な空にきらきらと輝く雪景色を堪能して、北国の春を迎えました。

さて、教育同盟東北・北海道地区の理事をお引き受けして7年目になります。2011年3月、東北学院の星宮望院長〈地区代表〉から、大震災のために常置委員会を少し延期しましょう、という連絡があり、これが教育同盟とのかかわりの最初でした。6月、ようやく札幌―仙台間の航空便で、東北学院、宮城学院、尚絅学院にお見舞いに伺いました。「泣くものとともに泣く」、心揺さぶられる体験でした。

ところで、その後、北星学園でも土橋信男理事長が急逝し、非常勤講師問題で攻撃され、余市高等学校の存続問題で揺れ、矢継ぎ早で開かれました。校門にある放射能測定の線量計を見て、ここは福島であることを痛感させられました。この研究会後、福島市南矢野目地区にある仮設住宅に立ち寄った際、そこで、今村震枝さんという御年90歳のご婦人にお会いしました。初対面にも関わらず、あれこれ身の上話。1923（大正12）年9月1日の関東大震災に誕生のため、父親が「震枝」という名前をつけ、戦時中は三浦半島で艦砲射撃に遭い、山中に命からがら逃げたこと、福島県の浪江町に住み、このたびの震災による原発事故に深い感銘を受けました。

最後に、多忙な日程の中、地区の会議や研究会にいつも参加してくださっている磯貝暁成事務局長に、深く感謝する次第です。

〈北星学園学園長、教育同盟理事〉

の困難に直面しております。

2013年のこと、地区中高部会の研究会が福島県伊達市の聖光学院高等学校で開かれました。校門にある放射能測定の線量計を見て、ここは福島であることを痛感させられました。この研究会後、福島市南矢野目地区にある仮設住宅に立ち寄った際、そこで、今村震枝さんという御年90歳のご婦人にお会いしました。初対面にも関わらず、あれこれ身の上話。1923（大正12）年9月1日の関東大震災に誕生のため、父親が「震枝」という名前をつけ、戦時中は三浦半島で艦砲射撃に遭い、山中に命からがら逃げたこと、福島県の浪江町に住み、このたびの震災による原発事故に深い感銘を受けました。

最後に、多忙な日程の中、地区の会議や研究会にいつも参加してくださっている磯貝暁成事務局長に、深く感謝する次第です。

2017年2月、星宮望先生の葬儀が行われ、悲しみの内にもその信仰と足跡とを紹介されました。道徳の教科化をはじめ、とんでもない法案の採決が続行されており、弾く同感しました。

2017年2月、星宮望先生の葬儀が行われ、悲しみの内にもその信仰と足跡に深い感銘を受けました。

最後に、多忙な日程の中、地区の会議や研究会にいつも参加してくださっている磯貝暁成事務局長に、深く感謝する次第です。

〈北星学園学園長、教育同盟理事〉

昨年の地区中高部会で、基督教独立学園高等学校の山本精一校長が「こんな時代、信仰なくて生きられましょうか」と語った方のこの後は訪ねています。

目地区にある仮設住宅に立ち寄った際、そこで、今村震枝さんという御年90歳のご婦人にお会いしました。初対面にも関わらず、あれこれ身の上話。1923（大正12）年9月1日の関東大震災に誕生のため、父親が「震枝」という名前をつけ、戦時中は三浦半島で艦砲射撃に遭い、山中に命からがら逃げたこと、福島県の浪江町に住み、このたびの震災による原発事故に深い感銘を受けました。

最後に、多忙な日程の中、地区の会議や研究会にいつも参加してくださっている磯貝暁成事務局長に、深く感謝する次第です。

〈北星学園学園長、教育同盟理事〉

加盟校動静

道城献一氏（ヴォーリズ学園学園長）

4月22日逝去、73歳。学園葬は5月14日（日）午後2時よりヴォーリズ平和礼拝堂で執行。謹んで哀悼の意を表します。

※新年度動静は、2・3面に掲載しました。

（訂正）4月号1面第105回定時総会案内記事中、会場校東北学院の現在の学生・生徒・園児数は1万4千人の誤りでした。お詫びして訂正します。

聖書のことば

安彦元玄（あびこもとはる）

「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている」（ヨハネによる福音書16章33節）

世の闇は深い。しかも、その闇は多様化し、深刻化しているとさえ思う。暗雲が厚みを増す現代を生きる多くの若者たちは、その心の奥底に鉛のような空しさとあきらめを沈め込んだままに生きている。私たちキリスト教学校は、この若者たちに何を伝えることができるだろうか。

とても残念なことだが、この世にあって神を愛し、隣人を自分のように愛し、また私らしく生きようとする時、苦難が私たちを襲う。まともに生きようと願う時、私たちはこの世の流れと明確に対決し、この世と戦うことを余儀なくされる。しかし、世に迎合せず、真理を求め、世に勝つ生き方を、私自身の人生を通して生徒たちに示せていることとはとても言えない。

「世に勝つとは権力をもって世を威圧することではない、また金銭をもってこれを買収することではない、寛容温かき心をもってこれを容受することである」（内村鑑三「世に勝つとは何ぞや」一部改）。この世の闇と戦う武器は「愛の武器」であり、与えられる愛をもって隣人を愛し、この世の闇に勝って、共に光の中を生きよう。

世の闇と空しさにさいなまれる若き魂に呼びかけたい。

世を捨てず、あきらめず、孤立せず、神から与えられる愛をもって隣人を愛し、この世の闇と戦っていくことだろう。イエスが共にいて下さるからこそ、罪深く無力で有害な私でさえも、このような生き方ができる。ここに私は希望を見出す。

世の闇と空しさにさいなまれる若き魂に呼びかけたい。

世を捨てず、あきらめず、孤立せず、神から与えられる愛をもって隣人を愛し、この世の闇と戦っていくことだろう。イエスが共にいて下さるからこそ、罪深く無力で有害な私でさえも、このような生き方ができる。ここに私は希望を見出す。

ところが、私の中には隣人愛という尊い愛は存在しない。あるのは無限の自己愛ばかりだ。しかし、だからこそイエスは「既に世に勝っている私が共にいるのだから勇気を出せ」と語られたのだ。愛なき私の無力は百も承知なのだ。

愛なき私にできることは、イエスに導かれ、私の内にイエスに導かれ、私の内を空にして神の愛を受け、その愛をもって世の人を愛し、世の闇と戦っていくことだろう。イエスが共にいて下さるからこそ、罪深く無力で有害な私でさえも、このような生き方ができる。ここに私は希望を見出す。

（基督教独立学園高等学校教諭）

一般社団法人キリスト教学校教育同盟
「eラーニングによる教員免許状更新講習」について

・いつでも、どこでもインターネットで受講が可能です。
・キリスト教学校教育を土台とした講座です。

（5月1日登録開始）

講習講座内容・申し込み方法・料金等については教育同盟ホームページ（トップページ「お知らせ」）をご覧ください。

一般社団法人キリスト教学校教育同盟
2017年度「キリスト教学校教育振興助成」の募集について

キリスト教学校教育を推進する研究・研修等への助成制度です。要項・申請書等詳細は教育同盟ホームページ（トップページ「お知らせ」）をご覧ください。

助成金＝総額300万円
（現在申請2件）
助成先選考日程（予定）
5月15日（月）締め切り
6月9日（金）助成先発表（定時総会時）

新規継続事業

先生方、自分の悩みは抱え込まないで!!

関西地区教育者支援ネットワーク

関西地区では、2016年11月より、教員の相談ホットラインを設けています。

今、先生方が、子どもたちや学校に関すること、自分のことも含め、悩んでしまい、出口を見失ってしまう、そんな状況になっていることがよくあります。そして先生方の悩みが、さらに悩みを生み出し、心だけでなく、体まで病んでしまうことがあるのです。

関西地区では、今までこのような悩みをもっている先生方が、中高部会カウンセリング研究会を中心とした各種研修に参加し、解決のヒントをもらって悩みを乗り越えてこられました。

しかし、それだけでなく、さらに多くの先生方が、経験豊富な方、専門的な方と相談し、解決の糸口を考えることができたのなら、どんなに良いことか。そんな思いで、このホットラインを開設しています。

このホットラインは関西地区カウンセリング研究会が中心になっていること、紹介する専門機関が関西に集中しているなどのことから、当面、関西地区の中高の教員が中心のホットラインとなっています。しかし、全国の皆さんにも、このホットラインがあることを知っていただきたいと思っております。

相談ホットラインの具体的な申込み方法は、以下の通りです。

1. 管理職を通じて、必要事項(所属、氏名、管理職名、ケースの概要など)を記入し、下記相談窓口メールアドレスに送信。
kyouikushashien@gmail.com

2. 折り返し担当者より返信いたします。さらに必要な場合には、専門機関(医療機関、弁護士など)を紹介することもあります(その際、費用が発生する場合があります)。

以上、どうぞ、遠慮なく、このホットラインをご利用ください。

長谷川洋一
〈大阪女学院副理事長、教育同盟「関西地区教職員支援ネットワーク構築委員会」委員長〉

第2回全国災害支援連絡会議に向けて

キリスト教学校教育同盟第103回定時総会で、理事長から委員会に諮問された「災害相互支援連絡校会議」の構築に向け、実行委員は下記のように集まりを重ねて検討を続けてまいりました。

・2015年12月11日~12日「準備連絡会議」(東北学院大学)
・2016年2月1日「実行委員会・準備連絡会議の振り返り」(桜美林大学四谷キャンパス)
・2016年6月1日 委員会・理事長に答申書提出
・2016年8月22日「第1回連絡会議」(立教大学池袋キャンパス)
※「キリスト教学校教育」2016年11月号参照
・2017年3月27日「実行委員会・第2回連絡会議に向けて」(事務局)

3月27日の「実行委員会」で、「第2回連絡会議」を下記のような概要で実施することを決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

1 日時=2017年8月21日(月) 11時45分(12時15分)~22日(火) 15時

2 場所=九州ルーテル学院・九州学院等(熊本市)

3 目的
将来、首都圏直下型地震・南海トラフ大地震等の大規模地震の発生により、当該地域が壊滅的な被害にあった場合、離れた地域からの迅速な支援が期待される。そのために東北・北海道地区、関東地区、関西地区、西南地区の各地区内における防災をテーマとした連携、および「顔の見える」関係づくりの推進を具体的に図り、災害支援のためのネットワークを構築する。

4 内容
第1日目
・益城、西原地区現状視察
案内講師=岩切雄太氏(日本福音ルーテル教会牧師)
・九州学院中学校・高等学校
説明者=阿部英樹(九州学院院長・中学校高等学校校長)
・熊本城 櫓倒壊・石垣崩落現場等視察
・夕食、情報交換(ホテルメルパルク熊本にて)
第2日目(ルーテル学院中学校・高等学校にて)
・報告1. 九州ルーテル学院、災害後に見えてきた事
報告者=林田博文(ルーテル学院中学校・高等学校校長)
・報告2. 災害時における女性・社会的弱者への配慮
報告者=広渡純子(九州ルーテル学院大学学長)
・報告3. 災害対策・支援連絡会議、関西地区の場合
報告者=田中米司(桃山学院中学校高等学校校長、全国災害支援連絡会議委員長)
・グループ討議、全体会など

各学校(園)から防災担当者や教育同盟ご担当者が、一人でも多く連絡会議に参加していただき、相互の意見交換を通して信頼関係を培っていただきたいと願っております。

また、機関紙にも書かせていただきましたが、互いに顔の見える支援ネットワークの構築にこだわり続けたいと考えています。引き続き、「災害支援連絡会議」のことを、各学校(園)の皆様に知っていただく事が大切であり、それが実現するように努めてまいります。

引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

田中米司
〈桃山学院中学校高等学校校長、全国災害支援連絡会議委員長〉

動きだした全国事務局長・事務長会議

全国のキリスト教学校の事務局トップの皆様、キリスト教学校教育同盟では、私たちのそれぞれの学校法人が、2018年問題やさらにその後に予測される就学年齢者の激減が予測される中で、如何にそれぞれの学校法人が建学の精神をしっかりと堅持しながら、その特色を生かして生き抜いていくかという大きな使命があります。そのためには、まず、事務局のトップが経営のプロとしてさらに切磋琢磨する必要があります。

しかしながら、日ごろの忙しさ故に、なかなか、自分を振り返ることの少ないことを思わされますが、全国の事務局トップの皆様が一同に会して、いろいろと情報交換しながら、また、良き学びの機会を持てたらと思っております。

つきましては、今回、第3回目となります、一般社団法人キリスト教学校教育同盟の「全国事務局長・事務長会議」を2017年9月8日(金)16時から9月9日(土)16時まで、名古屋の金城学院大学にて開催いたします。今回は、より充実したプログラムを提供すべく、事務局トップの皆さんにとって有益で大事な機会となりますように「事務局トップが今なすべきこと」という大テーマを掲げて、2年前から福岡女学院で理事長として、大いなる改革に取り組んでおられる、十時忠秀先生をお招きして、国立大学、病院経営から学ばれたことを踏まえての貴重なお話しを伺うことになりました。また「職員の人事評価と育成」のテーマで共愛学園の古田健事務局長、「労働環境―教職協同を支える事務人材の体制強化―」のテーマで尚絅学院の佐藤正人事務局長、「コンプライアンスの推進と監査体制の整備について―廃棄物処理法違反事件を契機とした取り組み―」のテーマで同志社の吉田由紀雄法人事務部長から、それぞれ発題していただき、午前のグループ討議では、発題テーマ別、午後は、学校種別で行います。

是非、多くの加盟校から事務局長・事務長の皆様が参加されますよう、ご案内申し上げます。

高良研一
〈西南学院事務局長〉

関東地区

キリスト教学校の教員を目指そう

10年を迎えた新入生ガイダンス

教職員後継者養成部会

3月31日午後1時半から4時まで、これから新しく関東圏の大学に入学する新入生向けの「新入生ガイダンス」が開催されました。これは後継者養成部会の関東地区のプログラムとして毎年行っているもので、今回で10年目を迎えました。全国の教育同盟加盟高等学校を通じて関東圏の大学に進学する新入生、とりわけ将来、教員志望の方々に呼びかけ、大学で学ぶことの意義、大学の教職課程の仕組み、キリスト教学校教育同盟の存在と後継者養成プログラムについて知ってもらうことを目的として開催されています。今回は19名の参加者が、一様に緊張した面持ちで会場の青山学院チャールズ・オスカー・ミラー記念礼拝堂に集まりました。

プログラムは、礼拝、基調講演、教職課程ガイダンス、3~4人の小グループに分かれての現役ボランティア学生とのディスカッション、教育同盟についての説明の順で進められ、互いに新しく始まる大学生活に期待しつつ、最後は閉会祈祷をもって散会しました。短時間ではありますが、キリスト教学校の卒業生であることに自信をもって歩んでいくようにとの奨めを受け、キリスト教学校で大切に育まれた経験を携えてそれぞれの道へと出発していきました。

近年は多くの大学で入学式以前からオリエンテーションや英語のクラス分け試験が行われるなど慌ただしい中で新年度がスタートしていきます。そのためガイダンスに出席できない方々もいるのですが、10年継続してきたこのガイダンス、そしてその他の後継者養成プログラムが少しずつ実りをもたらしてきていることは嬉しい限りです。

10年を経たせっかくの機会ですので、過去に基調講演をご担当くださった先生方を列挙しご紹介しておきます。いずれの先生方も、大学で学ぶことの意義とキリスト教学校の教育について新入学生に熱く語ってくださいました。職名は講演当時のものです。

2008年度・湊晶子氏(東京女子大学学長)、09年度・町田健一氏(国際基督教大学教授)、10年度・大西晴樹氏(明治学院大学学長)、11年度(東日本大震災により中止)、12年度・佐藤東洋士氏(桜美林学園理事長)、13年度・森島牧人氏(関東学院院長)、14年度・日比谷潤子氏(国際基督教大学学長)、15年度・阿久戸光晴氏(聖学院理事長・院長)、16年度・小河陽氏(関東学院学院長)、17年度・小暮修也氏(明治学院学院長)

今回の参加者の中からもキリスト教学校の後継者が誕生してくれることを願わずにはいられません。

伊藤悟
〈青山学院大学宗教主任、教育同盟教職員後継者養成部会委員〉

新年度動静

〈移転〉
YMCA学院高等学校
〒543-0073大阪市天王寺区生玉寺町1-3
☎06-6779-5690

〈名称変更〉
若松第一高等学校→会津北嶺高等学校
光風台三育小学校→三育学院大学付属光風台三育小学校

〈人事〉(敬称略)
北星学園
余市高等学校校長=平野純生
東奥義塾
塾長・高等学校校長=コルドウェル ジョン
宮城学院
中学校・高等学校校長=鎗田謙一
茨城キリスト教学園
中学校・高等学校校長=Randall W.Voss
青山学院
高等部部長=渡辺健
普連土学園
中学校・高等学校校長=青木直人
自由学園
理事長=村山順吉
啓明学園
理事長=北原都美子、中学校・高等学校校長=原田泰宏
香蘭女学校
中学科・高等科校長=鈴木弘
立教学院
立教池袋中学校・高等学校校長=鈴木利彦
聖学院
理事長=清水正之、院長=山口博、中学校・高等学校校長=角田秀明、小学校校長=佐藤慎
東京神学大学
学長=大住雄一
東洋英和女学院
高等部部長=楠山眞里子
関東学院
六浦小学校校長=澤章敏
山梨英和学院
山梨英和大学学長=菊野一雄
聖隷学園
聖隷クリストファー大学学長=大城昌平
北陸学院
中学校・高等学校校長=堀岡満喜子
名古屋学院
名古屋中学校・高等学校校長=森田祐二
名古屋学院大学
学長=小林甲一
ヴォーリズ学園
近江兄弟社小学校校長=小森康三
同志社
理事長=八田英二(4月22日付)、総長=八田英二、香里中学校・高等学校校長=瀧英次
平安女学院

(3面下段につづく)

新任教職員のみなさんへ

キリスト教学校教育同盟とは？

広報委員会から、新年度が始まるにあたり、新任教職員の方々に「キリスト教学校教育同盟」についてご紹介します。

幕末から明治初期にかけて、キリスト教学校が次々に創立し、日本の教育の重要な柱となりました。

しかし、1899（明治32）年に発令された文部省訓令第12号は、学校における宗教教育を禁じ、キリスト教学校は存立を脅かされる状況となりました。

このような情況に対して、1910年キリスト教男子学校10数校が「基督教教育同盟会」を組織し、13年には、20数校の女子校が「女子基督教教育会」を組織し、22年、この2つの会が合同して「基督教教育同盟会」となりました。

このようにして設立した、キリスト教学校教育同盟は、全国のキリスト教学校が情報交換や協力関係を結び、互いにキリスト教教育の向上を目指して、加盟校に共通する問題を共有する（教職員の研修）ことを目的に置く組織として、2010年には100周年を迎えました。

2014年10月15日付で、これまでの任意団体から、よりその使命と責任を明確にするために「一般社団法人キリスト教学校教育同盟」に移行しました。キリスト教教育を続ける場合は、「各種学校」扱いとなり、上級学校への進学や徴兵猶予の特権を失うことになりました。

なお、キリスト教学校教育同盟についてホームページで詳しく説明されていますので是非アクセスしてみてください（本同盟について「加盟校紹介」「教職員の方」のページ）。

千人、教職員数約4万人）

決議機関＝定時総会（例年1回6月開催）および理事会

地区協議会＝東北・北海道地区、関東地区、関西地区、西南地区。地区協議会は各地区代表理事のもと、地区協議会総会を開催

主な全国的活動

①定時総会（6月開催）

②学校代表者協議会（11月開催）

③教育研究委員会（大学部会、中高部会、小学部会、聖書科部会、事務職員部会、教職員後継者養成部会）

④広報委員会＝機関紙「キリスト教学校教育」発行（年10回）、ホームページ管理

⑤新規継続事業＝全国災害支援連絡会議、教育者支援ネットワーク、eラーニングによる教員免許更新講習、「道徳の教科化」に関するプロジェクト委員会

⑥キリスト教学校教育振興助成

⑦キリスト教学校教育懇談会（日本カトリック学校連合会と共同で講演会等を開催）

⑧教職員就職支援

加盟学校法人分布表（2017.4.1現在）

（2面下段からつづく）

中学校・高等学校校長＝今井千和世

梅花学園
学園長＝近藤十郎、梅花中学校・高等学校校長＝山田正夫

大阪キリスト教学院
大阪キリスト教短期大学学長＝森嶋邦彦

清教学園
理事長＝井上良作、中学校・高等学校校長＝森野章二

頌栄保育学院
理事長＝菅根信彦

夙川学院
理事長＝駒井滋、院長＝樋口進、中学校・高等学校校長＝鏑木稔

八代学院
神戸国際大学附属高等学校校長＝内尾徹

広島三育学院
大和小学校校長＝田渕裕

梅光学院
学院長＝樋口紀子、中学校・高等学校校長＝島田清

福岡女学院
中学校・高等学校校長＝藤義宰

西南女学院
理事長＝向雅彦

活水学院
活水女子大学学長＝湯口隆司、活水中学校・高等学校校長＝大岩厚

公募

※採用予定日は特記以外18年4月1日です。

▽東京基督教大学
▼神学部国際キリスト教福祉学科
職種＝家政学概論、他非常勤講師若干名
採用予定日＝9月
応募締切＝5月24日
問合せ＝☎0476-46-1131

▽女子学院中学校・高等学校
職種＝国語科専任教員1名
応募締切＝5月22日
問合せ＝☎03-3263-1711

▽立教新座中学校・高等学校
職種＝理科（生物、物理）、国語科　教諭各1名
応募締切＝生物―5月22日、国語科―5月27日、物理―5月29日
問合せ＝
理科　☎048-471-6631
国語科☎048-471-6625

▽立教女学院中学校・高等学校
職種＝英語科、家庭科専任教員各1名
応募締切＝6月23日
問合せ＝☎03-3334-5470

▽フェリス女学院中学校・高等学校
職種＝中学校社会科（歴史）・高等学校地歴公民（世界史）専任教諭又は常勤講師1名
応募締切＝5月19日
問合せ＝☎045-641-0242

▽聖学院中学校・高等学校
職種＝図書館　学校司書パート勤務1名
採用予定日＝6月1日
応募締切＝5月22日
問合せ＝☎03-3917-1121

▽フェリス女学院大学
職種＝ボランティア・コーディネーター　専門嘱託職員1名
採用予定日＝応相談
応募締切＝6月30日
問合せ＝☎045-812-8211

▽大阪女学院
職種＝専任事務職員若干名
採用予定日＝10月1日又は18年4月1日
応募締切＝6月28日
問合せ＝☎06-6761-4013

キリスト教教育者物語 ㊿

プール学院創立者 オクスラド

プール学院の創立者ともいうべきメアリー・ジェーン・オクスラド（1840～1922）は東洋女子教育協会（FES）の英国人女性宣教師として1877（明治10）年に来日。大阪川口居留地に4人の少女を集めて英語女学校を始めます。しかし、運営がうまくいかず学校を閉鎖することになり、健康状態もあって失意のうちに帰国を決意します。東洋女子教育協会もオクスラドに帰国命令を出します。

しかし、なぜか彼女は帰国しませんでした。失意の中で聖書を読み、祈り続ける中で、自分に与えられた使命は日本の少女たちのための学校を始めることだと確信したのです。「あなた方を耐えられないような試練に遭わせることはなさらない」という聖書の言葉をかみしめ、英国教会伝道協会（CMS）宣教師ワレンの支援のもと、1879（明治12）年プール学院の前身である永生学校を同じ川口居留地で始めています。

いくたびも挫折を経験しながら、それでも諦めることなくオクスラドに困難な状況を乗り越えさせたのは神への信頼と日本の少女たちに対する愛であったのです。人間的には肉体的にも精神的にも「弱さ」を持っていたオクスラドですが、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」（コリントの信徒への手紙二12章9節）というパウロの言葉を支えに「弱さ」の中にあって恵みを信じ、信仰的「強さ」のみを力にプール学院の基礎を築いたのでした。

杉山修一
〈プール学院理事長・学院長〉

ワレンの子どもを教える
オクスラド

図書案内

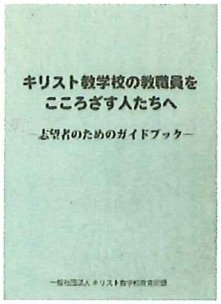
『キリスト教学校の教職員をこころざす人たちへ』をここに発行することができました。

今回の執筆には、青山学院の伊藤悟先生と玉川聖学院の水口洋先生にご尽力いただきました。

キリスト教学校教育同盟は、日本カトリック学校連合会とも広く連携を取りながらこの課題にさらに深く取り組んで参りますが、様々な機会にこの小冊子をご活用くださいますようにお願いいたします。

磯貝曉成
〈教育同盟事務局長〉

※頒価50円。教育同盟HP「刊行物について」から申し込みを。



『キリスト教学校の教職員をこころざす人たちへ―志望者のためのガイドブック―』（A6判101頁　教育同盟発行）

キリスト教学校において、その教育理念を理解する先生を採用し、また養成しようとする努力は1校だけでは難しいものがあります。その解決への1つの試みとして「教職員後継者養成部会」が全国4地区で様々な研修の機会を提供してきました。その折に発行された小冊子『教師をめざす君たちへ』の改訂新版『キリスト教学校の教職員をこころざす人たちへ』をここに発行することができました。

今回の執筆には、青山学院の伊藤悟先生と玉川聖学院の水口洋先生にご尽力いただきました。

キリスト教学校教育同盟は、日本カトリック学校連合会とも広く連携を取りながらこの課題にさらに深く取り組んで参りますが、様々な機会にこの小冊子をご活用くださいますようにお願いいたします。

磯貝曉成
〈教育同盟事務局長〉

※頒価50円。教育同盟HP「刊行物について」から申し込みを。

2016年度教職員就職支援状況報告

16年度の登録者数は59名（15年度70名）、加盟校への就職決定報告者は8名（15年度18名）で、公募件数（本紙およびホームページ）は、延べ297件（15年度307件）であった。

第28回全国キリスト教学校人権教育セミナー案内

標記セミナーが、8月18日（金）・19日（土）に群馬県前橋市の共愛学園で開催される（オプションのフィールドワークは17日に実施）。

テーマは「今日、会いに行こう！今、知る、出会う、共に生きる！」で、講演を山口陽一氏（東京基督教大学教授）が行う。

要項・申込書は6月上旬配布予定。問合せはNCC教育部（ncej-education@cello.ocn.ne.jp）へ。

事務局だより

この機関紙は年間10回発行されている。今号では教育同盟の組織と活動に少し触れている。小学校から大学まで273校からなる教育同盟であり、そこに所属する人数は教職員を含めて児童から学生まで38万余人となる。

学校は新年度となり、新たに入学した者はその学校に慣れることに汲々となっているが、それは誰もが通ってきた道でもある。教師も同様に新しい生活リズムに自分を合わせることだけで疲れ果てているが、ゴールデンウイークで文字通りリセットが許されている。もう一度みんな歯を食いしばってやってみよう。目の前のことで精一杯、であったとしても、その先にある、これからの「わたし」を思い描いて今を過ごしたい。

教育同盟では大きく2つのことが動き出している。1つは、eラーニングによる「教員免許状更新講習講座」、2つには、「キリスト教学校教育の振興のための助成事業」（総額3百万円）。この2つの教育同盟の動きを暗示しているかと思うがいかがか。

事務局長

※公募欄は3面に掲載しています。

キリスト教Q&A

―キリスト教の理解を深めるために―

鬼形恵子
（横浜英和学院宗教主任）

Q．キリスト教ではどんな風に祈りますか？

A．いつもの自分らしい言葉で祈ってください。

≪祈り≫

キリスト教学校では、学校生活の中で祈る機会があります。礼拝だけでなく、昼食前やホームルームで祈ることもあるかもしれません。

キリスト教の祈りは「神との対話」です。心の中で神と対話することなのです。ですから基本的にはどう祈っても、神さまの前で素直に思いを話せば良いのです。仏教のお経や神道の祝詞を聞いたことがあります。聞いてすぐに意味が分かる人は少ないのではないかと思いました。どちらがいいということではなく、キリスト教の祈りはいつも使っている言葉で祈るのでわかりやすいのです。これはキリスト教の祈りの大きな特徴です。

しかし人前で祈る時は、基本の型を知っていると便利です。祈りは神との対話ですから、まず神への呼びかけから始めます。「天にいらっしゃる神さま」「愛する天の神さま」などです。最後は「この祈りをイエス・キリストのみ名によって御前におささげします」などの言葉を「結び」とします。神と人とを繋いでくださるイエスの名によって祈るからです。「アーメン」は、ヘブライ語で「本当に」「そのとおりです」という意味です。他の人の祈りに合わせてアーメンと言う時は「わたしも同じ気持ちです」という意味になります。

祈りの内容としては「讃美」「感謝」「願い」「反省（ざんげ）」「とりなし」などがあります。「とりなし」の祈りは、他者のための祈りであり、キリスト教ではとくに大切にしています。誰でも自分中心になりがちですが、他者の痛みや思いに寄り添い、その人のために祈ろうとすることは尊いことです。災害にあった人たちへ、紛争の中にある子どもたちへ、遠い場所にいても祈ることはできます。祈りが次の行動を生むこともあります。

「感謝」も特徴的な祈りです。不平や不満ばかりではなく、小さなことでも感謝できると生活は豊かになります。本校では、毎日朝の礼拝から学校生活がスタートします。「今日も新しい朝をありがとうございます。」とよく祈ります。それを聞いた新入生が「夜になると朝がくることは当たり前だと思っていたけれど、新しい朝に感謝することを知り、清々しく1日をスタートできるようになった」とレポートに書いていました。

マザーテレサは「神は沈黙の友です」と言いました。道に迷う時、困難にぶつかる時、沈黙の中で神からの語り掛けに耳を傾けてみてください。祈りは力となるものです。

<行事予定>
6／9、10　第105回定時総会（東北学院）
17　第62回東日本小学校教職員協議会（立教女学院小学校）
7／22～24　第61回事務職員夏期学校（東山荘）
8／8～10　第4回中堅教員リトリート（同志社びわこリトリートセンター）
21～22　第3回全国災害支援連絡会議（九州ルーテル学院）
24～25　第7回中堅事務職員研修会（桜美林大学多摩アカデミーヒルズ）
25～26　第4回大学新任教員研修会（青山学院大学）
9／7～8　第61回大学部会研究集会（青山学院大学）
8～9　第3回事務局長・事務長会議（金城学院）